



里山に育む生きものたち

16 キセキレイ

(スズメ目 セキレイ科)

学名 *Motacilla cinerea*

英名 Grey Wagtail

写真・文 / 山口 萬壽美

▼特徴

全長約20cm。頭上から背、肩羽、耳羽は灰色。繁殖期の雄の喉は黒く、三角風切りに白い縁取りが見られます。飛翔時、初列風切りと次列風切りの基部に白帯が見られます。冬期の下面は胸部から腹部、下尾筒にかけて黄色が目立ち、河原や電線などに止まっている時、一目でキセキレイの存在が分かります。冬期は雌雄とも喉が白くなります。

▼分布

極地方を除く、ユーラシア、サハラ以南のアフリカ、アゾレス諸島などで繁殖し、北方のものは、冬季にはアフリカ北部からインド、東南アジア、ニューギニア、オーストラリア等に渡ります。日本では九州以北で繁殖し、冬

は本州中部以南に普通に見られます。

▼習性

行く水の目にとどまらぬ青水沫鶴せきれいの尾は触れにたりけり 北原 白秋

平地から山地の川、湖沼、池などの近くに住み、夏には尾瀬など、2,000m位の山でも見られます。地上や水辺を活発に歩き、昆虫やクモなどを捕食します。幅の狭い流れや山間の溪流では、岩の間を歩く姿も見られます。立ち止まった時や飛んできて降りるときには、尾を激しく上下に振る習性から、「岩叩き」「庭叩き」などの異名があります。

大きな波姿を描いて飛び、チチン、チチンと金属的な声で鳴きます。繁殖期には、木の梢や人家の屋根などに止

まってチチチツ、チチチツと囀ります。

▼繁殖

巣作りは、水に近い崖のへこみ、石垣の間、枝の茂み、人家の軒下などを利用し、枯茎や細根を使って皿形の巣をつくり、4〜6個の卵を産みます。卵は緑灰色の地に、暗褐色の斑点が見られます。巣立ちまでの日数は12〜14日位です。

▼観察ノート

野鳥の観察を始めてから10年くらい経った頃、鳥の写真を撮ることの大切さに気付きました。300ミリの望遠レンズで初めて撮影に成功したのが花貫ダム(高萩市)でのキセキレイの写真でした。

この鳥の観察や撮影は11月〜4月頃が適切かと思えます。とくに繁殖期が始まる3月下旬〜4月中旬頃、キラキラ黄色味を帯びた雄が、長い尾を上下に振りかざし、甲高い声でラブソングを歌います。その歌声は山川に響き渡り、春の訪れを感じさせます。

本町で、寛政川の上流や若宮川下流域でよくみられるセキレイ類は、キセキレイがおおく見られ、次いでセグロセキレイ、ハクセキレイの順のようです。セキレイ科の鳥の姿は、清楚で清新な感じがします。このような鳥が私たちの近くに棲んでいて、心を癒してくれる。なんと貴重な存在でしょう。

編集・発行 / 茨城町総務企画部まちづくり推進課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤 1080 TEL029-292-1111

ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

DATA

茨城町の人口と世帯数 ※カッコ内は前月比です。(住民基本台帳 平成 25 年 6 月 30 日現在)

◆総人口 34,371 人 (-35) 男 17,199 人 (-23) 女 17,172 人 (-12) ◆世帯 12,603 戸 (-8)

DATA

再生紙を使用しています



環境に優しい大豆インクを使用しています